

AD-5604C

防水型温度計
(保証書付き)

取扱説明書

AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

1WMPD4002887

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2014 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1. はじめに	2
2. 安全にお使いいただくために	2
3. 取り扱い上の注意	2
4. 各部の名称	4
5. 電池の交換方法	6
6. 操作方法	7
6-1. 測定準備	7
6-2. 温度の測定方法	8
6-3. ホールド機能	9
6-4. 最高値／最低値の表示	9
6-5. 温度測定値のメモリ	10
6-6. アラーム機能	12
6-7. アラーム設定値と温度測定値メモリの一括削除	17
6-8. バックライト	17
6-9. オートパワーオフ	17
7. 本製品のお手入れ	18
8. 仕様	18

1. はじめに

このたびは、AD-5604C 防水型温度計をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品をより効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、保証書も兼ねておりますので、お読み頂いた後も大切に保管してください。

2. 安全にお使いいただくために

本書には、あなたや他の人への危害を未然に防ぎ、お買い上げいただいた製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

警告表示の意味



この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

注意

- ・ 修理
ケースを開けての修理は、サービスマン以外行わないでください。保証の対象外になるばかりか機器を損傷及び機能を消失する恐れがあります。
- ・ 機器の異常
機器の異常が認められた場合には、速やかに使用をやめ、「故障」であることを示す貼紙を機器につけるか、あるいは誤って使用されることのない場所に移動してください。そのまま使用を続けることは大変危険です。なお修理に関しては、お買い上げいただいた店、または弊社にお問い合わせください。

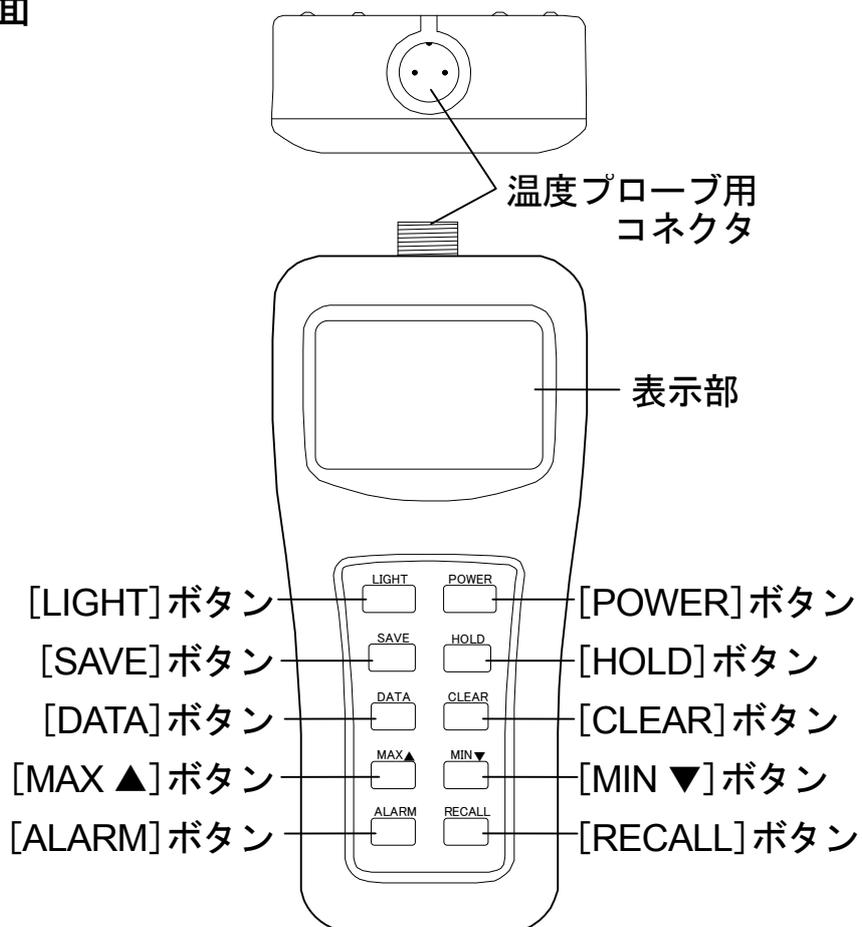
3. 取り扱い上の注意

- 高温（50℃以上）または低温（0℃以下）の温度を測定した後、温度プローブはすぐには安全な温度にはならないので、常温に戻るまでは、手等に触れないように取り扱ってください。火傷や凍傷の恐れがあります。

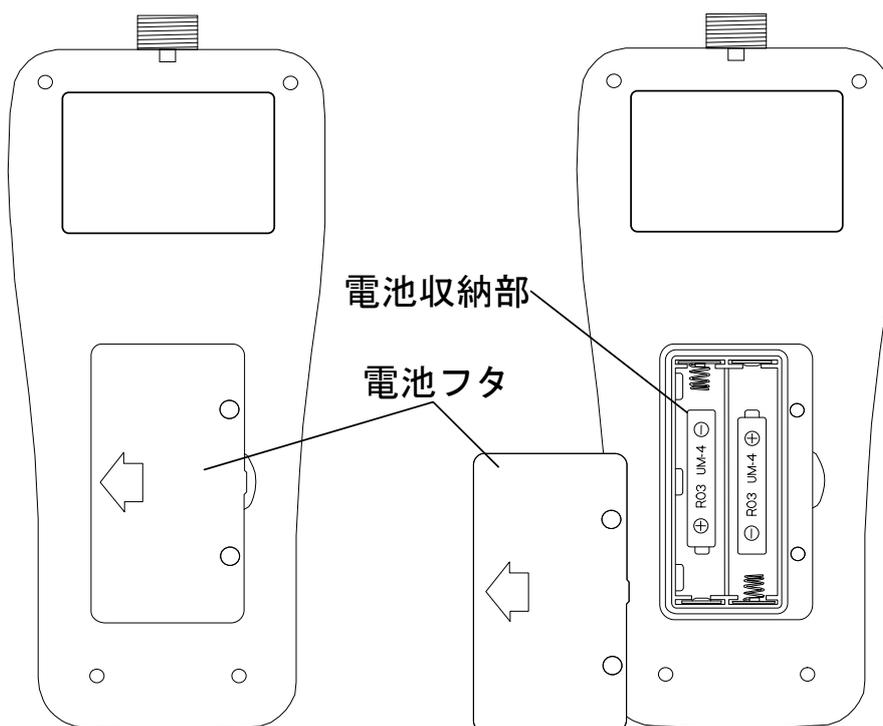
- 温度プローブのシース部（金属部分）は、+300℃までの使用に耐えますが、ハンドル部の耐熱は+60℃です。高温を測定する場合には、ハンドル部やケーブル、本体を高温にさらさないようお気を付けください。変形や破損の恐れがあります。
- 温度プローブは手で持って測定してください。固定したり刺したままご使用にならないでください。
- 本製品の測定間隔（表示の更新）は1秒毎ですが、正確な測定をするためには、温度プローブが周囲温度になじむまで（特に温度の変化が大きい場合）、時間が掛かる場合があります。測定に掛かる時間は、測定環境や測定対象物により異なります。
- シースの先端は尖っており、人や物に刺さる危険があります。持ち運ぶ時や保管する時には、プローブキャップを付けてください。
- 強い衝撃や振動、電氣的ショックを与えないでください。故障の原因になります。
- 長時間直射日光を受ける場所や、密閉された車内、ストーブなどの暖房器具の近くではご使用にならないでください。本製品の動作温度範囲は0～40℃です。この温度範囲を超えて使用した場合、故障の原因になります。
- 暑い所から寒い所へ、または寒い所から暑い所への急な移動は避けてください。急激な温度変化により、内部に水滴が付くことがあります。
- 本製品は防水構造になっておりますが、長時間水に濡れるような場所や水中に設置をしないでください。本製品の防水性能は、JIS C 0920の保護等級7級に準拠し、常温で水深1mの静水において30分間防水性能を保持します。
- 電池容量の少ない電池を入れた時や使用中に電池容量が少なくなってくると、ボタンを押しても動作しなかったり、正常な表示ができないなどの現象が出る場合があります。このような場合、「5. 電池の交換方法」の手順で電池を交換してください。
- 強い磁場や電界のある場所（テレビやIH調理器具、電子レンジなど）では、本製品に影響を与える恐れがあります。そのような場所でのご使用は避けてください。
- 危険防止のため、引火性のガスがある場所でのご使用は避けてください。

4. 各部の名称

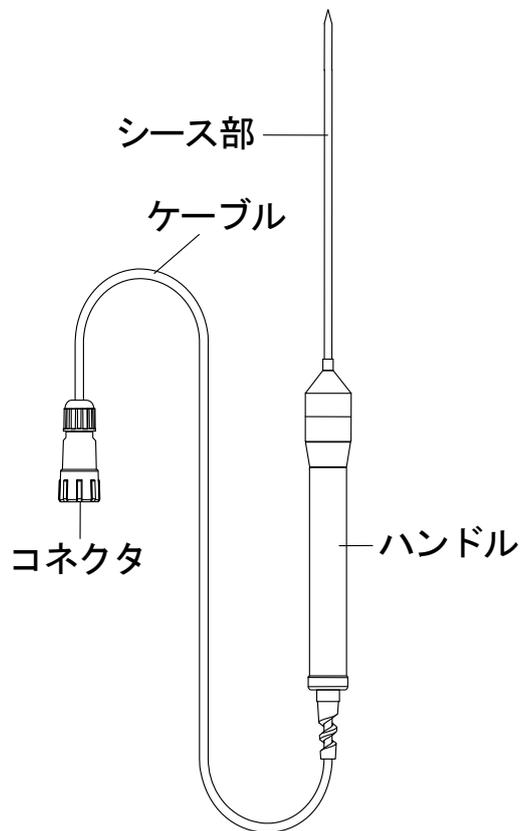
上部／正面



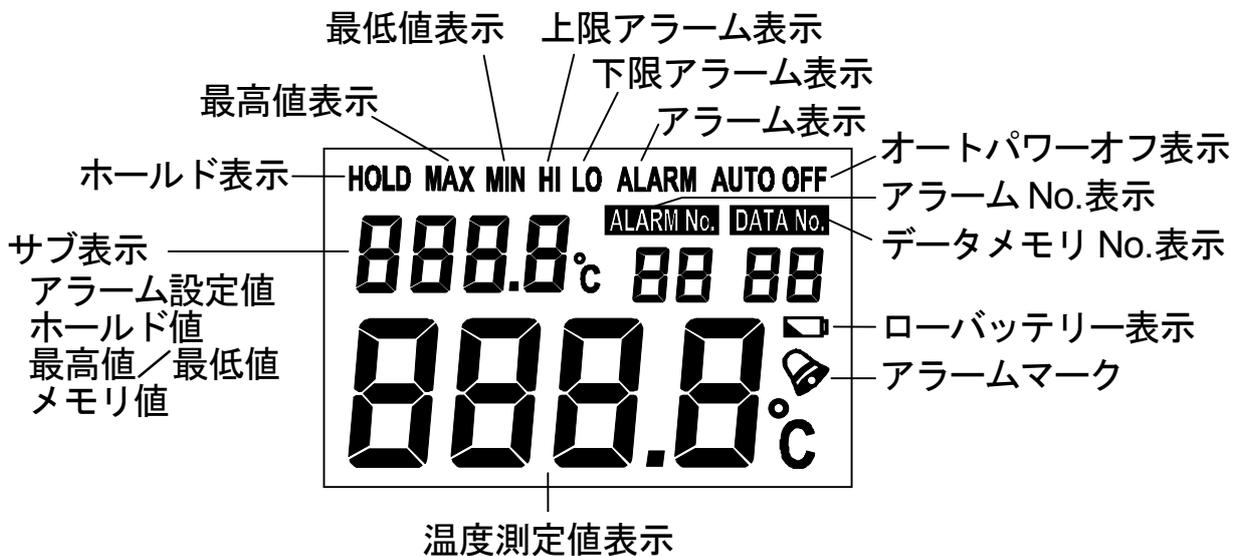
背面



温度プローブ



表示部



エラー表示

- Lo** : 表示範囲の下限値を超えている時や、温度プローブ、内部回路の異常の時に表示されます。
- Hi** : 表示範囲の上限値を超えている時や、温度プローブ、内部回路の異常の時に表示されます。
- oPn** : 温度プローブが未接続の時や、温度プローブ、内部回路の異常の時に表示されます。
- SHt** : 温度プローブや内部回路の異常の時に表示されます。

5. 電池の交換方法

ご購入時、本体には電池は入っていません。以下の手順で電池を正しく入れてください。

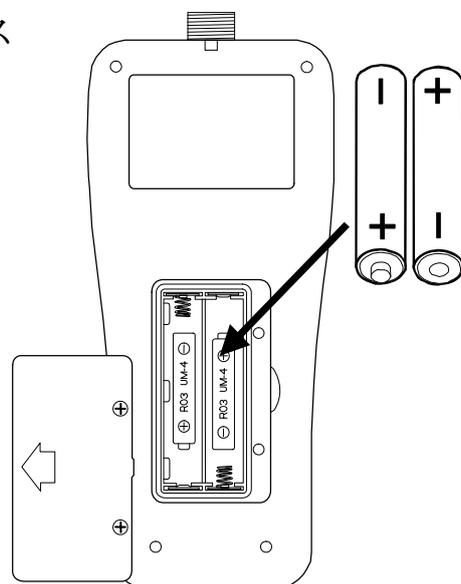
また表示の右側に「」が表示された場合は、以下の手順で電池を交換してください。

※電池は、お近くのコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ホームセンター、電器店でお求めになれます。

※本体が濡れている場合は、水気を十分拭き取ってから電池を交換してください。本体内部に水が入ると故障の原因になります。

電池の交換方法

- ①本体裏面の電池フタのネジを、#1 プラスドライバーを使って緩めて、電池フタを外します。ネジは完全に外さずに手応えが無くなるまで緩めて、ネジを上方向に引っ張ると電池フタが外れます。
- ②古い電池を取り出します。
- ③新しい単4電池2本を極性を間違えないようにして入れます。
- ④電池フタを元に戻して、#1 プラスドライバーでネジを締めます。
電池フタがきちんと取り付けられていないと、内部に水が入り故障の原因になります。



⚠ 電池使用上の注意

- ・ 付属の電池はモニタ用ですので、電池寿命が短い場合があります。
- ・ 仕様に記載されている電池寿命は、周囲温度 25°C時で新品のアルカリ電池を使用し、アラームを使わない場合のもので、周囲温度やアラームの使用頻度によっては、極端に電池寿命が短くなる場合があります。
- ・ 本製品を長時間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
- ・ 電池は必ず指定のもの（単4電池2本）をご使用ください。
- ・ 電池交換の際には2本とも新しい電池に交換してください。新旧電池を混ぜて使うと、液漏れの恐れがあります。

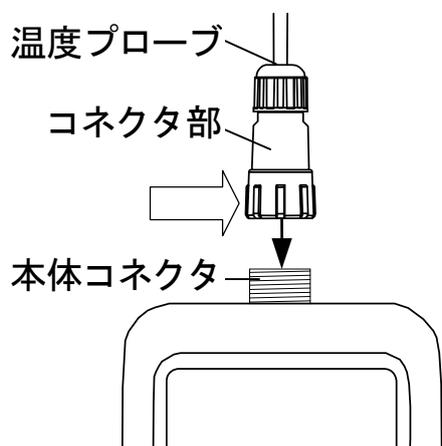
- ・ 電池容量の少ない電池を入れた時や使用中に電池容量が少なくなってくると、正常な表示や動作が出来なくなる場合があります。このような場合は、新品の電池に交換してください。
- ・ 電池は極性を間違えないようにセットしてください。電池を逆に入れると正常に動作しないばかりか、故障の原因になります。
- ・ 破裂や液漏れの恐れがありますので、充電、ショート、分解、火中への投入はしないでください。
- ・ 電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- ・ 環境保全のため、使用済み電池は、市町村の条例に基づいて処理するようお願いいたします。

6. 操作方法

温度プローブは必ず手に持ってお使いになり、固定してお使いにならないでください。

6-1. 測定準備

本製品を使用する前に付属の温度プローブを本体に接続します。



- ① 温度プローブのコネクタ部を本体コネクタに差し込みます。(コネクタには向きがあります。)
- ② 温度プローブのコネクタ部先端(左図矢印⇨で示した白い部分)を時計回りにしっかり締めてください。緩んでいると、コネクタ部から水が入り、故障する恐れがあります。

※ご購入時には温度プローブの先端にプローブキャップが被せてありますので、測定時は必ず外してください。

・温度センサの測定部位について

温度を検知する部分は、シース部の先端です。

正確な温度測定を行うには、先端より **30mm** 程度が温度測定する物の中に入っている必要があります。



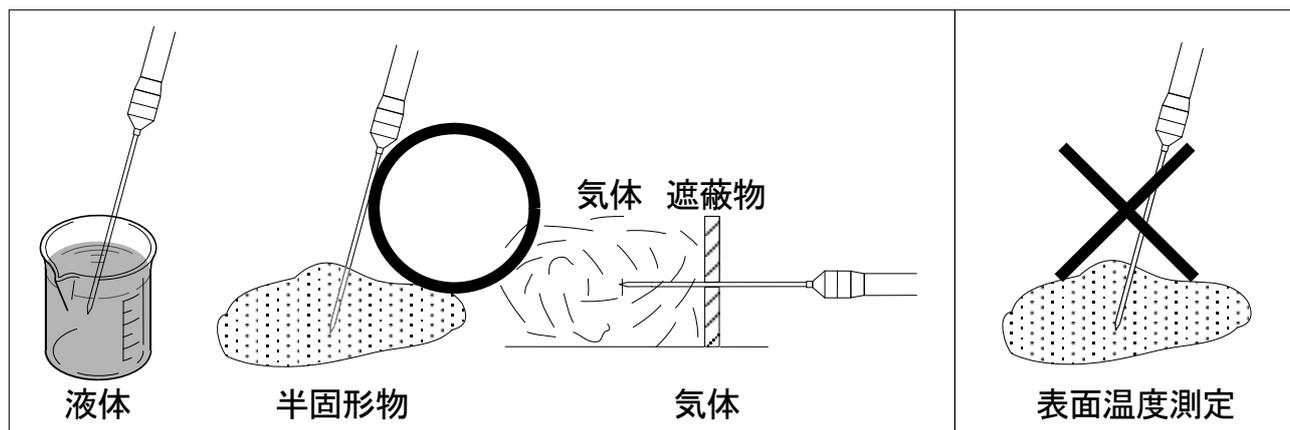
6-2. 温度の測定方法

[POWER] ボタンを押すと電源が入ります。

表示部に測定温度が表示されます。



測定物に合わせて以下のように測定します。



付属している温度プローブは、気体・液体及び半固形物の温度測定に適していますが、表面温度測定には適していない形状のため、このような温度測定には注意が必要です。

湯気などの高温雰囲気中の気体を測定する場合、ハンドル部を高温から守るため、遮蔽物などをご使用ください。

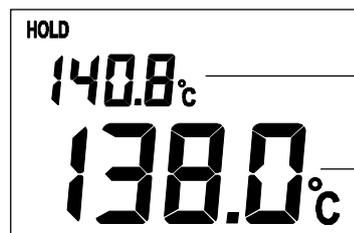
測定対象が固形物で硬い場合、無理に刺そうとすると温度プローブが破損しますので、シースが固形物の内部に入る工夫が必要です。破損防止のため、シース部以外の部分を測定対象の高温や低温にさらさないようにご注意ください。

⚠ 注意

- ・ 本体は防水型ですが、温度プローブを接続しない状態で水に濡らしたり、洗ったりしないでください。
- ・ 電子レンジの中での温度測定はしないでください。故障の原因になります。
- ・ 温度測定以外の用途に使用しないでください。測定対象物にシースを突き刺した状態で測定物を持ち上げる等、温度プローブに無理な力を加えると故障の原因になります。
- ・ 24VAC または 60VDC を超える電圧がかかっている物に直接シース部を接触させないでください。感電や故障の原因になります。
- ・ 温度プローブのシース部（金属部分）は、+300℃までの使用に耐えますが、ハンドル部（プラスチック部分）の耐熱温度は+60℃までです。高温の測定をする場合には、ハンドル部を高温にさらさないでください。破損や故障の原因になります。
- ・ 温度プローブのケーブルに無理な力を加えたり、引っ張ったり、ケーブルを持って本体とハンドル部を振り回したりしないでください。ケーブル断線など故障の恐れがあります。

6-3. ホールド機能

[HOLD]ボタンを押すと、表示の左上に「HOLD」と表示され、サブ表示にホールドされた温度測定値が表示されます。もう一度[HOLD]ボタンを押すと、ホールドされた温度測定値の表示が消えます。



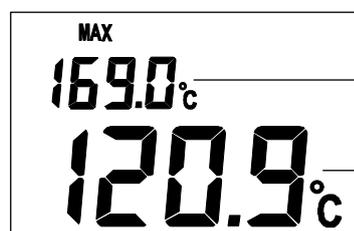
ホールドされた
温度測定値

現在の温度測定値

6-4. 最高値／最低値の表示

本製品は、電源を入れてからの温度測定値の最高値と最低値を自動的に記憶する機能があります。

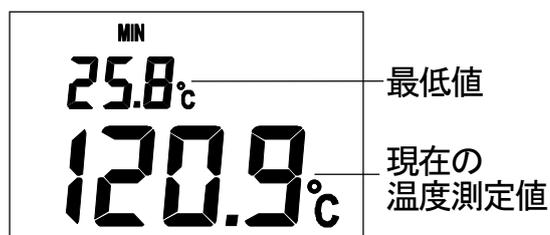
[MAX ▲]ボタンを押すと、表示の左上に「MAX」が表示され、サブ表示に最高値が表示されます。最高値を表示中でも最高値は更新されます。もう一度[MAX ▲]ボタンを押すと、通常が表示に戻ります。



最高値

現在の温度測定値

[MIN ▼]ボタンを押すと、表示の左上に「MIN」が表示され、サブ表示に最低値が表示されます。最低値を表示中でも最低値は更新されます。もう一度[MIN ▼]ボタンを押すと、最低値の表示が消えます。



注意：電池を外すと記憶されていた最高値と最低値はクリアされます。

最高値／最低値のクリア

[MAX ▲]ボタンを3秒以上長押しすると、サブ表示がバー表示「---:--°C」になり、記憶されていた最高値がクリアされ、新たに最高値を記憶し始めます。

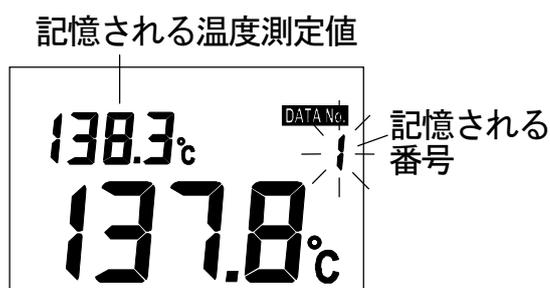
[MIN ▼]ボタンを3秒以上長押しすると、サブ表示がバー表示「---:--°C」になり、記憶されていた最低値がクリアされ、新たに最低値を記憶し始めます。

6-5. 温度測定値のメモリ

本製品では、温度測定値を最大99個まで内部メモリに記憶することが出来ます。

温度測定値をメモリする手順は以下の通りです。

- ① [DATA]ボタンを3秒以上長押しすると、サブ表示に記憶される温度測定値が表示され、表示の右上に「DATA No.」と表示され、その下の番号（記憶される番号）が点滅します。



記憶する番号は、選択することは出来ません。

- ② [DATA]ボタンを1回押すと、記憶される番号の点滅が止まり、温度測定値が記憶されます。
①の表示のまま15秒以上何もしないと、温度測定値以外の表示が消えて、記憶もされません。
- ③ もう一度[DATA]ボタンを押すと、通常表示に戻ります。また②で温度測定値を記憶した後、15秒以上何もしないと、自動で通常表示に戻ります。

④連続して温度測定値を記憶したい場合には、①～③を繰り返します。

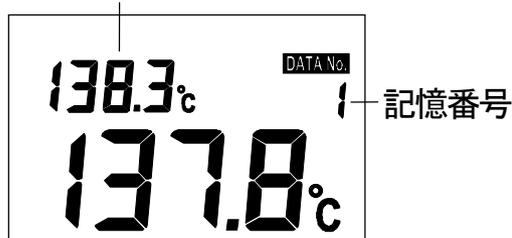
※ 99 個まで記憶すると、記憶する番号の所に「FL」と表示され、記憶する事が出来なくなります。

温度測定値メモリの表示

記憶した温度測定値は以下の手順で確認する事が出来ます。

① [DATA] ボタンを 1 回押すと、右図のように記憶番号と記憶された温度測定値が表示されます。

記憶された温度測定値



② [MAX ▲] ボタンを押す毎に、表示される記憶番号が上が

っていき (1→2→3→4・・・)、[MIN ▼] ボタンを押す毎に、表示される記憶番号が下がっていきます (1→99→98→97・・・)。

温度測定値メモリを表示中に 15 秒以上何もしないと、自動で通常表示に戻ります。

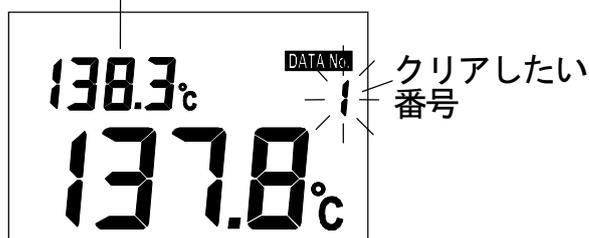
※ 温度測定値が記憶されていない番号も表示されます。記憶されていない番号の値は、バー表示「---.-°C」になります。

温度測定値メモリを 1 つクリア (削除) する場合

① 温度測定値メモリの表示の手順で、クリアしたい番号を表示させます。

クリアしたい温度測定値

② [CLEAR] ボタンを 1 回押すと、記憶番号が点滅します。



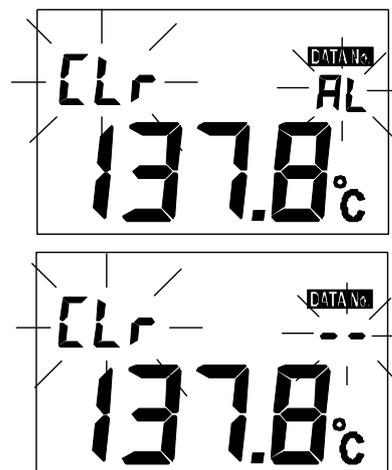
③ もう 1 回 [CLEAR] ボタンを押すと、記憶された温度測定値と記憶番号がバー表示になって、選択した番号の温度測定値の記憶がクリアされます。



No.20 まで記憶していて、No.10 をクリアした場合、No.11～20 は No.10～19 に自動で繰り上げられます。

温度測定値メモリを全てクリア（一括削除）する場合

- ①温度測定値メモリを表示させます。
- ②[CLEAR] ボタンを押しながら [DATA] ボタンを押すと、サブ表示に「[Lr」、DATA No.に「AL」の表示が点滅します。
- ③[CLEAR] ボタンを 1 回押すと、サブ表示に「[Lr」、DATA No.に「--」の表示が点滅します。
- ④もう一度[CLEAR] ボタンを押すと、記憶されていた温度測定値メモリが全てクリアされ、通常表示に戻ります。



注意：削除したメモリは、復活させる事は出来ませんのでご注意ください。

6-6. アラーム機能

本製品は、上限／下限アラーム機能があります。

上限アラーム機能は、温度の表示値がアラーム設定値を上回ると温度表示値とアラームマークが点滅し、ブザー音が鳴ります。

下限アラーム機能は、温度の表示値がアラーム設定値を下回ると温度表示値とアラームマークが点滅し、ブザー音が鳴ります。

上限／下限アラームを最大 99 個まで内部メモリに記憶する事が出来ます。

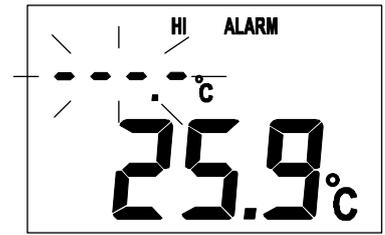
アラームの設定

アラームの設定は、 -50.0°C ～ 300.0°C の範囲内で、 0.5°C 刻みで設定できます。

注意：本製品では下限アラームの設定値は、上限アラームの設定値と同じか又は大きい値には設定出来ません。

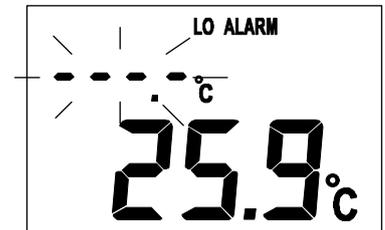
設定方法とアラーム動作は以下の通りです。

- ① [ALARM] ボタンを3秒以上押し続けると、サブ表示が「---.-°C」（以前アラーム設定している場合は、過去のアラーム設定値）の表示が点滅し、「HI」と「ALARM」の文字が表示され、上限アラーム設定モードになります。



- ② [MAX ▲] ボタンか [MIN ▼] ボタンを押して、上限アラームの設定をします。[MAX ▲] ボタンを押すと設定値が増加し、[MIN ▼] ボタンを押すと設定値が減少します。また、各ボタンを押し続けると、数字が早く変わります。アラーム設定値をクリアする場合は、[CLEAR] ボタンを押してください。サブ表示が「---.-°C」に戻り、アラーム設定値がクリアされます。上限アラームを設定しない場合は、「---.-°C」にしてください。上限アラームの設定中に約 15 秒間、ボタン操作をしないと、自動で「HI」から「LO」の表示に切り替わり、下限アラーム設定モードになります。

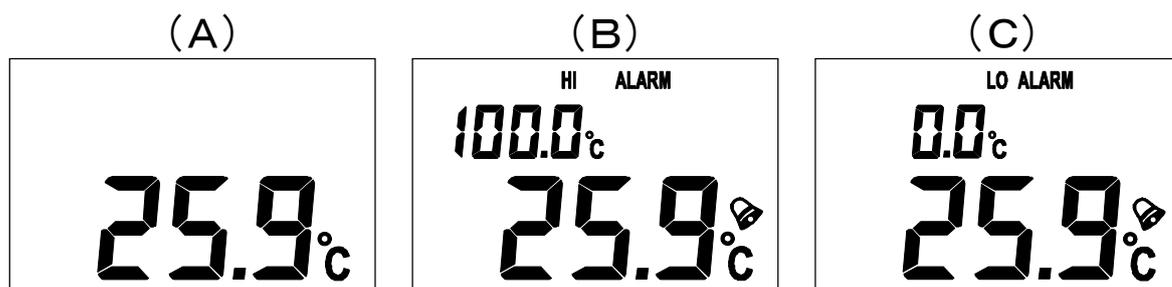
- ③ 上限アラームの設定が終わったら、[ALARM] ボタンを押してください。「HI」から「LO」の表示に切り替わり、下限アラーム設定モードになります。



- ④ [MAX ▲] ボタンか [MIN ▼] ボタンを押して、下限アラームの設定をします。[MAX ▲] ボタンを押すと設定値が増加し、[MIN ▼] ボタンを押すと設定値が減少します。また、各ボタンを押し続けると、数字が早く変わります。アラーム設定値をクリアする場合は、[CLEAR] ボタンを押してください。サブ表示が「---.-°C」に戻り、アラーム設定値がクリアされます。下限アラームを設定しない場合は、「---.-°C」にしてください。下限アラームの設定中に約 15 秒間、ボタン操作をしないと、自動で下限アラーム設定モードを抜けて、通常表示に戻ります。

⑤下限アラームの設定が終わったら、[ALARM]ボタンを押してください。

アラームを設定しなかった場合(上限/下限共にバー表示)は(A)の表示に、上限アラームのみを設定した場合は(B)の表示になり、上限アラームの設定値が表示され、下限アラームのみを設定した場合は(C)の表示になり、下限アラームの設定値が表示され、上限/下限アラームを両方設定した場合は(B)と(C)の表示を交互に1秒毎に表示します。



アラームの動作

温度の表示値がアラーム設定値に達すると、温度表示値とアラームマークが点滅し、ブザーが約 15 秒間鳴ります。ブザーが鳴っている 15 秒間の間に[POWER]ボタン以外のボタンを押すと、ブザー音が止まります。ブザー音が鳴っている間に[POWER]ボタンを押すと、電源がオフになります。

その後は温度表示値がアラーム設定値を超えている間は、温度測定値は点滅し続け、約 30 秒間隔でブザー音が 1 回鳴ります。

アラームの有効⇔無効の設定

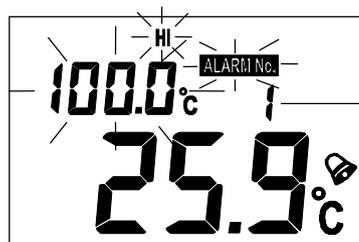
本製品には、アラーム設定をクリアすることなく、アラームを有効(動作させる)⇔アラームを無効(動作させない)の設定が出来ます。

[ALARM]ボタンと[RECALL]ボタンを同時に押す毎に、アラームの有効⇔無効の切り替えが出来ます。

注意：アラーム設定されていない場合には、アラームの有効⇔無効の切り替えが出来ません。

アラーム設定値の記憶

- ① 設定した上限／下限アラームを内部メモリに記憶するには、[SAVE] ボタンを 3 秒以上長押ししてください。

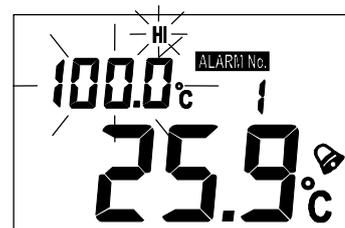


記憶される番号

上限／下限のアラーム設定

値と「ALARM No.」が点滅し、記憶する番号が表示されます。この間、約 15 秒間何もボタン操作しないと、自動で通常表示に戻り、アラーム設定値も記憶されません。(設定したアラームは有効です。)

- ② [SAVE] ボタンを 1 回押すと、「ALARM No.」の点滅が止まります。



- ③ [SAVE] ボタンをもう 1 回押すと、「HI」(または「LO」) とアラーム設定値の記憶が完了します。

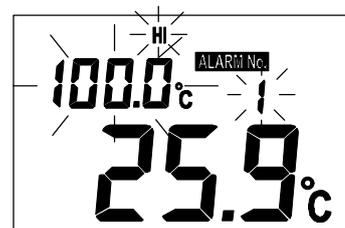
②～③の間、約 15 秒間何もボタン操作しないと、自動でアラームが記憶され、通常表示に戻ります。

No.99 まで記憶すると、記憶番号の所に「FL」と表示され、記憶する事が出来なくなります。

注意：アラームを記憶する番号は、選択することは出来ません。
No.1 から順番に自動で割り振られます。

アラーム設定値の呼び出し

- ① アラーム設定値を呼び出す場合には、[RECALL] ボタンを 3 秒以上長押しします。上限／下限のアラーム設定値と記憶番号が点滅し、「ALARM No.」が表示されます。



- ② [MAX ▲] ボタンを押す毎に、表示される記憶番号が上がっていき (1→2→3→4・・・)、[MIN ▼] ボタンを押す毎に、表示される記憶番号が下がっていきます (1→99→98→97・・・)。記憶したアラーム設定を表示中に 15 秒以上何もしないと、自動で通常表示に戻ります。

※ アラーム設定値が記憶されていない番号も表示されます。記憶されていない番号のアラーム設定値は、バー表示「---.---℃」になります。

- ③呼び出したいアラーム設定値を表示させ、[RECALL]ボタンを1回押すと、アラーム設定値が呼び出されます。
- ①～②の間に15秒以上何もしないと、自動で通常表示に戻り、アラーム設定値も呼び出されません。

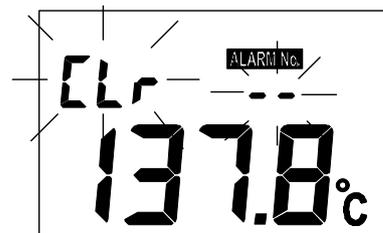
アラーム設定値を全てクリア（一括削除）する場合

①アラーム設定値の呼び出し表示にします。

②[CLEAR]ボタンを押しながら[ALARM]ボタンを押すと、サブ表示に「[Lr」、ALARM No.に「AL」の表示が点滅します。



③[CLEAR]ボタンを1回押すと、サブ表示に「[Lr」、ALARM No.に「--」の表示が点滅します。



④もう一度[CLEAR]ボタンを押すと、記憶されていたアラーム設定値が全てクリアされ、通常表示に戻ります。

注意 1： 内部メモリからアラーム設定値を呼び出した状態で、一括削除を行った場合、内部メモリのアラーム設定値は全て削除されますが、本機のアラーム設定は残っています。例えば内部メモリからアラーム No.4 を呼び出していた場合、アラームの一括削除を行っても、本機にはアラーム No.4 の設定が残ります。このアラーム設定値を変更したい場合は、アラームを再設定し直してください。

注意 2： 削除したメモリは、復活させる事は出来ませんのでご注意ください。

6-7. アラーム設定値と温度測定値メモリの一括削除

本製品には、記憶されたアラーム設定値と温度測定値メモリをまとめて削除する機能があります。

- ① [CLEAR] ボタンを5秒以上長押しすると、右図のようにサブ表示に「[Lr」、ALARM No.とDATA No.に「AL」が点滅します。



- ② [CLEAR] ボタンを1回押しすると、右図のようにサブ表示に「[Lr」、ALARM No.とDATA No.に「--」が点滅し、アラーム設定値と温度測定値メモリが全て削除されます。



注意：削除したアラーム設定値と温度測定値メモリは、復活させる事は出来ませんのでご注意ください。

6-8. バックライト

[LIGHT] ボタンを押すと、緑色のバックライトが約15秒間点灯します。

バックライトが点灯中に[LIGHT]ボタンを押すと、バックライトが消灯します。

6-9. オートパワーオフ

本製品は電源を入れてから約15分が経過すると、自動的に電源が切れます。表示の右上に「AUTO OFF」と表示されます。

オートパワーオフ機能を解除するには、電源が切れた状態で[SAVE]ボタンを押しながら[POWER]ボタンを押して電源を入れてください。表示右上の「AUTO OFF」が消えて、オートパワーオフ機能が解除されます(無効になります)。

オートパワーオフ機能を有効にしたい場合は、一度電源を切って、再度電源を入れ直してください。

7. 本製品のお手入れ

本製品が汚れた場合は、こすらずに軽く水洗いしてください。汚れがひどい場合は、スポンジなどに中性洗剤を含ませて軽く拭き取ってください。

シンナー、ベンジン類似の揮発性溶剤、または研磨剤などは使用しないでください。

8. 仕様

温度センサ	: pt1000
温度測定範囲	: -50.0°C～300.0°C
温度表示範囲	: -50.0°C～355.0°C
表示分解能	: 0.1°C
測定精度	: ±1.0°C (-30.0°C～250.0°C) ±2.0°C (-50.0°C～-30.1°C、250.1°C～300.0°C)
表示更新間隔	: 1 秒毎
上限／下限	
温度アラーム	: -50.0°C～300.0°Cの範囲で0.5°C刻みで設定可能、 最大 99 個まで記憶可能
ブザー音量	: 約 65dB (10cm 離れて)
温度測定値メモリ	: 最大 99 個まで記憶可能
防水レベル	: JIS IPX7 (水深 1m にて 30 分間耐水、常温の静水、温度プローブ接続時)
電源	: 単 4 電池×2 本
電池寿命	: 約 1 年 (1 日 1 時間使用、バックライト／アラーム未使用、アルカリ電池使用の場合)
オートパワーオフ	: 約 15 分
動作温湿度	: 0～40°C、75%RH 以下 (結露しないこと) (シース部を除く)
保存温湿度	: 0～50°C、75%RH 以下 (結露しないこと)
シース部寸法	: シース長 約 150mm、シース径 φ3.6mm、 ケーブル長 約 1m、質量 約 120g
本体寸法	: 66(W)×148(H)×29(D)mm (突起部含まず)
本体質量	: 約 120g (電池含む)

標準付属品 : 電池 (モニタ用)、温度プローブ、
ソフトクリアケース、取扱説明書

材質 : 本体 ケース/電池フタ : ABS
表示部レンズ : PMMA
ボタン : ゴム (TPR)
プレート : PC
ネジ : SUS302

温度プローブ
シース : SUS304
ケーブル : シリコン
ハンドル/コネクタ : PA (ナイロン) 66
プローブキャップ : ABS
ソフトクリアケース : PVC

保証規定

万が一、本製品を用いたことにより損害が生じた場合の補償は本製品の購入代金の範囲とさせていただきます。また、次のような場合には保証期間内でも有償修理になります。

1. 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。
2. 保管上の不備によるもの、及びご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。
3. 不適切な修理改造及び分解、その他の手入れによる故障または損傷。
4. 火災、地震、異常気象、指定外の電源使用およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。
5. 保証書のご提示がない場合。
6. 保証書にご購入日、保証期間、ご購入店名などの記載の不備あるいは字句を書き換えられた場合。
7. ご使用後の外装面の傷、破損、外装部品、付属品の交換。
8. 保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

※お買い上げ店または弊社営業所にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様がご負担願います。

製品に関するお問い合わせはお客様相談センターへ

受付時間：9:00～12:00 13:00～17:00

(日・祝日、年末年始、弊社休業日を除く)

通話料無料 0120-514-019

〒364-8585 埼玉県北本市朝日 1-243

株式会社エー・アンド・デイ

2014年8月2日現在